

NIH、助成受給研究の論文公開に関する方針強化を発表（11月16日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）は11月16日、NIH助成を受給した研究の成果としての論文の一般公開に関する方針を強化し、NIHのパブリックアクセス方針に従わない研究に関しては、助成金の次回支給を行わないこと、そして、今回発表の新方針は早ければ2013年春から施行予定であることを発表した。

パブリックアクセス方針は、NIHの助成を受けた研究の成果が一般に公開されるよう、2008年より施行されているが、実際には対象となる研究全体の75%の研究論文しか公開されていないことが、2012年3月に国家科学技術会議（National Science and Technology Council : NSTC）が発表した報告書「パブリックアクセスの省庁間調整（Interagency Public Access Coordination）」において明らかにされている。

なお、今回発表された方針は、

<<http://grants.nih.gov/grants/guide/notice-files/NOT-OD-12-160.html>>から、

NSTCによる報告書は、

<[http://www.whitehouse.gov/sites/default/files/microsites/ostp/public\\_access-final.pdf](http://www.whitehouse.gov/sites/default/files/microsites/ostp/public_access-final.pdf)>から、それぞれダウンロード可能。

Science Insider, NIH Steps Up Enforcement of Public Access Policy

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/11/nih-steps-up-enforcement-of-public-access-policy.html>